＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	仙台東省エネ住宅
グループの名称	仙台東省エネグループ
直近採択グループ番号	06-0645-0088

（グループ代表者）

代表者名	鎌田　孝一　代表者印
代表者所属先	株式会社鎌田建築設計事務所
代表者所在地	宮城県多賀城市大代四丁目15-19
代表者電話番号	022-365-7762

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社鎌田建築設計事務所
事務局担当者名	鎌田　孝一　印
事務局郵便番号	985-0832
事務局所在地	宮城県多賀城市大代4丁目15-19
事務局電話番号	022-365-7762
事務局FAX	022-365-3013
事務局担当者E-mail	sjkamata@eagle.ocn.ne.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	仙台東省エネ住宅
２．グループの名称(必須)	仙台東省エネグループ
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0645-0088
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	宮城県内
５．結成年(必須)	2016　年
６．グループ代表者名(必須)	鎌田　孝一
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社鎌田建築設計事務所
８．グループ代表者所在地(必須)	宮城県多賀城市大代四丁目15-19
９．グループ代表者電話番号(必須)	022-365-7762
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社鎌田建築設計事務所
１１．グループ事務局担当者名(必須)	鎌田　孝一
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	985-0832
１３．グループ事務局所在地(必須)	宮城県多賀城市大代4丁目15-19
１４．グループ事務局電話番号(必須)	022-365-7762
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	022-365-3013
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	sjkamata@eagle.ocn.ne.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	2	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	2	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ．プレカット	1	
Ⅴ．設計	4	
Ⅵ．施工	8	
Ⅶ．木材を扱わない流通	1	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	みやぎ材	宮城県	優良宮城材認証制度	1	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上))の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	4	棟	
				㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	1	棟	
			138	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	各対象木造住宅の経験が少ない又は無い業者が多い為、基本的には経験業者を優先するが 未経験業者にも申請するようグループとして進めて参ります。

E．平成２９年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)							
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0 戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)							
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)							
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)							
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	優良建築物型							
	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸
	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
4	Ⅰ － 21	丸平木材株式会社		986-0728	宮城県本吉郡南三陸町志津川天王山22-1	0226-46-3113
4	Ⅰ － 23	宮城県森林組合連合会		980-0011	宮城県仙台市青葉区上杉二丁目4-46	022-225-5991
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
4	Ⅱ － 21	丸平木材株式会社		986-0728	宮城県本吉郡南三陸町志津川天王山22-1	0226-46-3113
4	Ⅱ － 24	株式会社 タカカツ		989-6255	宮城県大崎市古川休塚字新西田38-1	0229-28-1000
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅲ. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)　＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
4	Ⅲ － 21	丸平木材株式会社		986-0728	宮城県本吉郡南三陸町志津川天王山22-1	0226-46-3113
5	Ⅲ － 22	山二建設資材株式会社		010-1415	秋田県秋田市御所野湯本三丁目1番5号	018-826-0300
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
4	Ⅳ － 24	株式会社 タカカツ		989-6255	宮城県大崎市古川休塚字新西田38-1	0229-28-1000
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ⅴ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅴ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅴ．設計							○	○
4	Ⅴ － 7	株式会社　鎌田建築設計事務所		985-0832	宮城県多賀城市大代四丁目15-19	022-365-7762	○	
4	Ⅴ － 9	有限会社　河野建築設計事務所		985-0801	宮城県宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字清水62-18	022-794-7411	○	
4	Ⅴ － 10	引地建築士事務所		985-0005	宮城県塩竈市杉の入4-1-19	022-362-3602	○	
4	Ⅴ － 25	甲賀設計事務所		985-0823	宮城県宮城郡七ヶ浜町遠山5-3-46	022-367-2083	○	
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							8	○	○
4	Ⅵ － 11	90542	株式会社引地製材所		985-0005	宮城県塩竈市杉の入４－１－１９	022-362-3602	○	
4	Ⅵ － 12	90603	星建業		985-0804	宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字寺島２３	022-364-8695	○	
4	Ⅵ － 13	90653	有限会社　赤間建業		985-0801	宮城県宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字清水６２－１８	022-357-2824	○	
4	Ⅵ － 14	90423	すずき設計		985-0003	宮城県塩竈市北浜３丁目２－６	022-362-5012	○	
4	Ⅵ － 15	90561	株式会社山一ハウス		981-3626	宮城県黒川郡大和町吉岡南二丁目３番地の１６	022-345-5158	○	
4	Ⅵ － 16	90609	創美工房		985-0861	宮城県多賀城市浮島２丁目１５－４	022-389-2551	○	
4	Ⅵ － 17	90665	有限会社　鈴勝建設		985-0813	宮城県宮城郡七ヶ浜町湊浜２－１－１２	022-357-4417	○	
4	Ⅵ － 18	90569	株式会社村正建設		989-0231	宮城県白石市福岡蔵本字下舘１９－１０	0224-24-5104		○
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

<様式 2-2・Ⅵ-2>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
4	Ⅵ － 11	90542	株式会社引地製材所	30 戸	30 戸	1 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
4	Ⅵ － 12	90603	星建業	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
4	Ⅵ － 13	90653	有限会社 赤間建業	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
4	Ⅵ － 14	90423	すずき設計	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
4	Ⅵ － 15	90561	株式会社山一ハウス	20 戸	15 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
4	Ⅵ － 16	90609	創美工房	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
4	Ⅵ － 17	90665	有限会社 鈴勝建設	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
4	Ⅵ － 18	90569	株式会社村正建設	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
5	Ⅶ － 22	山二建設資材株式会社		010-1415	秋田県秋田市御所野湯本三丁目1番5号	018-826-0300
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 仙台東省エネ住宅	（地域型住宅供給対象地域） 宮城県内
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） 仙台東省エネグループ	（結成年） 2016　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0645-0088	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	東日本大震災の被災地域であり、今後も大きな地震が起きることが予測されていることから、耐震性能を重視する。 また、沿岸地域においては津波被害も多かったことから高基礎等の計画も重視する。 ランニングコストを抑えることの出来る省エネ性能を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	被災地では、嵩上げした土地が多い為地盤調査を行い、地盤に適した改良や基礎を施工する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	各地域の住宅計画やまちづくりルールに沿った街並み等への配慮を行う。	◎
④ ①～③の背景	当グループの地域は東日本大震災の被災地域であり、甚大な被害を受けた。特に沿岸地域においては 大部分が津波により被害を受け、沿岸部の住宅地では嵩上げや高台移転といった対策が取られているが、 軟弱地盤が多い為地盤調査により適した改良や基礎を施工することが重要である。 津波対策としては、住宅の基礎を一般の高さよりも高くした高基礎の住宅の設計も進めている。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当グループでは工事未経験構成員への支援体制を整備し、グループとして施工物件に関しては現場での 勉強会等を定期的に開くことにより、施工技術や知識をグループ構成員全員に伝えて今後の営業や施工に 生かしてもらうようにする。 昨年度は棟数及び施工技術向上といった目標が達成出来なかったので、今年度はしっかり目標達成と 各業者のレベルアップをしていきたい。	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

	【平成30年度対応方針】				◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：構造材に関しては、宮城県産材を多く使用して仕様を統一化し、施工や生産体制の効率化を図る。地域型住宅の共通標準仕様書を作成する。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：断熱材・建材等の統一仕様書を作成し、コストの減額を図る。共通標準仕様書から、省エネ機器の絞込みを行う。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：各建材・躯体の標準仕様を作成し仕様の統一化を図る。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：建材の統一化により、資材調達の運搬や事務処理等も共同化することが出来る。	○
	②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：地域型住宅の標準仕様書で対象商品を特定する。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：グループ内にグリーン化技術委員会を設置し施工事業者による事例の発表等によりグループ全体の底上げを図る。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：常に生産合理化に向けた取り組みについての情報収集を行いグループ構成員に情報を報告会等で報告する。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：グループ内の施工基準を確立する為のマニュアル等の整備を行い、フラット35の設計施工基準を標準とし、劣化対策等級2相当以上とする。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：地盤調査の調査ポイントを5ポイントで行うこと。中間・完了検査・引渡し前に施主を含めての立会い調査を実施し仕様書の内容と照らし合わせて合致している事を確認する。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：仕様により標準価格を設定し、消費者に分かり易く理解できる様な内容とする。省エネ機器等、メーカー・定価が明らかなものは表示する。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：当グループの共通標準仕様を反映させたモデルハウスを建築し、未経験構成員への支援とグループの信頼性向上及び、地域住民への情報提供に役立てたい。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	■ ない	□ ある →	内容：当グループとしては具体的な取組はまだ始まっていませんが、昨今の過労問題等の面からも今後検討していきたい。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない	□ ある →	内容：グループ内各業者で労働単価・評価のシステムについて意見や取組を出し合い又、技能や経験に見合った処遇がなされているかを協議する場を設ける。	○
	③ 社会保険への加入	■ ない	□ ある →	内容：グループ内全ての業者について、下請けまで含め社会保険加入業者に工事を行わせるとともに、未加入業者を用いない・未加入業者に加入を働きかけるよう取り組む。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	■ ない	□ ある →	内容：グループ各社への健康診断の励行、長時間残業等に対する働き方の改革を協議する場を設ける。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		当グループで施工した住宅のモデル住宅として地域住民が参加できる展示会や相談会等を行い、地域経済にも貢献できるような体制としたい。 途中参加する施工事業者は、省エネ講習を受講条件とする。 年々進む省エネ化に知識・技能等対応出来るようグループとして経験を積むように働きかけたい。		○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）仙台東省エネ住宅	（地域型住宅供給対象地域）宮城県内
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）仙台東省エネグループ	（結成年）2016　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0645-0088	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴情報システムにデータ保管する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：プロパティオン㈱（いえかるて正会員）に蓄積する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局、施主、施工者が共通IDにより確認する。	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：点検チェックリストによる定期点検及び維持管理計画を作成する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：震度5強以上の地震地域では応急点検・補修を行う。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：定期点検時期が近い事をメール等で、関係者に送信する。	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	■ ない	□ ある →	内容：年1回程度の住宅見学会等の顧客イベントを事務局で企画検討を行う。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：年1回程度の森林見学ツアー等を事務局にて企画検討を行う。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：設備メーカーと協力して、年1回「住まい相談会」を実施する。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：グリーン化技術委員会と事務局が連携し、維持管理委員会を設置し維持管理方法や技術の情報収集を行い構成員に周知させる。	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：定期点検を点検チェックリストを基に検査員が行う為、統一的な判断が可能となる。	◎
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：構成員が点検時期に実行出来ない状況の時は、事務局が代替履行できる構成員を斡旋する。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない	□ ある →	内容：瑕疵保険会社に事務局が交渉し、講習会を企画する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		事務局は消費者の総合的な相談窓口となる。				◎

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：補助対象現場を利用した施工構成員向けの見学会を行う。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ内の施工基準に沿って施工されているか事務局及び構成員にて確認する。劣化対策等級2相当以上とする。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局及び構成員にて定期的に検査確認を行う。	◎
	③-1	需給計画の策定	■ ない	□ ある →	内容：今後、地域型住宅の供給戸数増加に伴い、地域材の受給見込みを策定する。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：省エネ義務化に備え「適合率向上に向けた講習会」を受講する。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	■ ない	□ ある →	内容：設計構成員は、外皮計算・一次ｴﾈﾙｷﾞｰ計算を習得し施工構成員を支援する。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	◎
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：事務局で未受講者名簿を作成し、講習会開催予定表を地域協議会より入手して、該当者に通知する。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：新しい製品や工法などの情報収集及び試験採用し、大手との差別化を研究する。	○
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：当グループでの新技術開発は検討していません。	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		当グループ内でモデルとなる住宅を建築し、構成員の勉強会や見学会を開催し施工技術や知識を全構成員に習得させるようにする。 昨年度はグループとして技術の向上等が上手く実行できず今年度は目標としては最低でも昨年度の目標に達するように努力する。				○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）仙台東省エネ住宅	（地域型住宅供給対象地域）宮城県内
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）仙台東省エネグループ	（結成年）2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0645-0088	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	主要構造材につき、次の証明制度を利用する。 ・土台：合法木材証明制度（国内、国外） ・柱：合法木材証明制度（国内、国外）宮城県産材証明制度 ・梁桁：合法木材証明制度（国内、国外）	
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	宮城県産材登録業者→原木流通構成員→製材工場→プレカット工場→施工構成員 ・各フロー毎に証明書添付を行い、合法性を確認する。 ・従来、主要構造材についての認証制度は調べてきたが、今後は「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律に鑑み、主要構造材以外の木材についても合法性を調査する。調査は、事務局と木材流通構成員によって行う。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：グループ内での情報の共有による。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：グループ内で最新の情報をメール等で知らせる	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：グループ内での物件情報の共有による。	◎
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：地域振興のため地域の特産品等の利用を積極的に行う。	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：寒冷地では室内に物干し場を設けるなど、地域の風土に合った設計を行う。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		地域の産業も活性化出来るような取組方法を考えていきたい。	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災地域のグループとして積極的な県産材の活用や地域に合った住宅造り、地域住民との交流を行うことで震災復興に少しでも役に立てればと思い活動していきたいと思います。 近年震災の記憶が徐々に風化してきていると感じますが被災地の復興はまだまだです、今後も復興に向け住宅の再建等を考えている方の力になれればと思います。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	同じ大地震の被災者として今まで復興の為にやってきた事を、今度は熊本地震の復興の為に何か役に立てられればと思います。なかなか熊本地震の復興に関われる機会はございませんが、グループとして役立てる事を模索していきたい。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 仙台東省エネ住宅	（地域型住宅供給対象地域） 宮城県内
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） 仙台東省エネグループ	（結成年） 2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0645-0088	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。